

## 令和3年度 第1学期 終業式 式辞

### ○ はじめに

皆さんこんにちは、校長の田村です。

今日で1学期が終わります。

先週金曜日の避難訓練で、初めて全校生徒が一堂に会する場面となりましたが、在籍814名 こんなに多くの生徒一人一人が、自覚ある行動をとってくれたおかげで、再び臨時休業になることなく、1学期の終業式を迎えることができたことに感謝しています。

みんなよくがんばりました。

しかし、世の中では、デルタ株といわれる変異株の感染者が、急速に増えています。

感染すると、10代の若者でも重症化することもあると言われていていますから、これから先も感染予防対策を怠らないようにしてください。

- ① 手洗い
- ② マスク
- ③ 食時中に、話をしない。

④ 部活動の終了後は、寄り道をしないこと。

そして、これから先、もし、誰かが感染したとしても、それを非難したり、偏見を持ったたり、差別するような発言や行動をしてはいけません。

無論、SNSに投稿するなどもってのほかです。

もし、感染してしまっても心配せずに治療に専念してください。

体力のある若者であれば必ず治ります。

治ったら、安心して登校してください。

さて、明日から42日間の夏季休業が始まります。

「図書館だより」を見ると、1学期の貸出冊数がとても多かったそうです。

素晴らしいなあと思っています。

長期休業を有効に使う方法として、読書というのは良い方法の一つだと思います。

そして、この夏は、これまでとは違ったジャンルの読書にも挑戦して、人間の深みを増（ま）してほしいです。

開催が危ぶまれたスポーツの祭典、「東京オリンピック」が、23日に開会します。

日本選手の活躍がきっと感動と勇気を与えてくれると信じています。

そして、母国を代表する誇りを持ってアスリートたちが、世界の国々から来日しています。

一方で、世界の国々には、「先進国と発展途上国」、「豊かな国と貧しい国」など、格差があるという現実、地球上には、様々な課題があることを皆さんは知っているはずで

す。そこで、今年の夏は、「世界規模の課題について目を向ける夏、にしてはどうだろうか。」と提案します。

わかりやすく言うと、それは、SDGsについて考える。です。

今頃、SDGsなんて、古いよ！と言ってほしいところですが、SDGsって知っていますか？【図1】



この17の目標が描かれたカラフルなデザインは見たことがあると思います。

今、SDGsという合言葉が、世の中に広がっています。日本でも、政府を挙げて取り組んでいます。

簡単に紹介しますから、ぜひ、本を読んだり、インターネッ

トで調べて、自分のこととして考えてみてください。

また、近未来のことですから、若者が中心となり様々な取組が行われていることも知ってほしいと思います。

SDGsとは、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とい  
います。【図2】

発音は、英語科の山岸先生に教えていただきました。

**SDGs** … 持続可能な開発目標  
【Sustainable Development Goals】

**地球が危ない！**

地球を守るため 世界が一つになって  
2030年までに  
《17のゴール(目標)を達成する》  
2015年の国連サミット

地球が危ない状況にあるので、

地球を守るため、

世界が一つになって、

2030年までに、17の目標を達成しよう！と

いうものです。

2015年の国連サミットで決まりました。

例えば、「14番に海の豊かさを守ろう」というものがあります。【図3】



海のプラスチックゴミは、環境に大きな被害を与えています。

環境省では、2050年には、プラスチックゴミの量が、魚の量を越えると予想しています。

さらに、それらのプラスチックゴミを食べた魚を食べる人間の体への影響も心配されています。

昨年の7月からコンビニなどのレジ袋が、有料になりましたよね。

レジ袋を削減したところで、プラスチックごみ汚染が解消することはありません。

しかし、有料にすることで、このプラスチック製品が本当に必要なものなのか？ということを考える機会となり、エコバックやマイバッグを持つなど、過剰な使用をやめる意識づけとなります。

この行動が、SDGsの取組です。

そのほかにも、我々工業技術を学ぶ者として、ズバリのターゲットがあります。  
「12番 つくる責任 つかう責任」 です。【図4】



ものを作る時には、「ごみを出さない」ように考えて作りなさい。

これを「リデュース」といいます。【図5】

また、リサイクル「再資源化」、リユース「再使用」しやすい材料を使った作り方をしなさい。というものです。3Rと言います。

### 3 R

**RE DUCE** ... 「**ごみを出さない**」

(リデュース)

**RE CYCLE** ... 「**再資源化**」

(リサイクル)

**RE USE** ... 「**再使用**」

(リユース)

さらに、「13 気候変動に 関すること」、  
「1 貧困に 関すること」など、17の目標があります。



では、本校での取組は、何かあるでしょうか？

具体的には、昨年、東京大学の生産技術研究所の企画で、地元、川越市のSDGsへの取組を大漁旗にデザインしました。【旗1】



ここには、「8 働きがいも経済成長も」と「11 住み続けられるまちづくりを」が、描かれています。

さらに、10月には、ウエスタ川越で開催されるSDGsの催しに、教科や専門学科から参加します。

9年後の2030年は、皆さんは、26歳から28歳くらいで、社会の一員として、活躍している時代です。

その時、世界が「持続可能な社会となっている」ためには、ものづくり技術者としてどうすればよいのかなど、世界が一つになって取り組む目標（SDGs）について、少し、考えてみる夏休みにしてはどうでしょうか。

そして、その解決に向かう行動が、ひらめいたら、3年生の課題研究のテーマとして研究してほしいと思います。

それが、今、勉強している工業技術で解決できるのであれば、素晴らしいと思います。そして、皆さんには、社会課題を見つけ、解決しようとする意欲と創造力を持った技術者に育ってくださることを期待しています。

最後になりますが、夏休み中に、不安になったり、心配なことがあったら、一人で悩んだり、考え込んだりしないで、電話で担任の先生に相談したり、学校に話をしに来てください。

校長室でも大丈夫です。話をすると、少し、気が楽になるものです。

明日からの夏休みが、みんなにとって有意義な時間となり、9月1日、体力も気力も充実して、元気に登校してくれることを楽しみに待っています。

私からは、以上です。